

起業塾で塾生（元留学生）との交流

新山 敏彦(東芝ライテック)

東芝から半導体事業部の米国駐在員として1人事務所に赴任した際、代理店の社長一家にビジネスのみならず生活全般に関わることで助けてもらった経験から、今度は自身が在日外国人で困っている人に何かできないかとの思いで、三井V-Net に紹介してもらった一般社団法人グローバル人材ネットワークの扉を叩いてみました。その団体は入ってみると、広島で起業をしようとしている外国人の手助けをするという日本でも大変な目標を持った団体でした。

塾生たちは、日本語能力が非常に高く、大学院卒、博士号を持っている高度人材といわれる方で、母国の人たちのために社会的意義を持った起業にチャレンジしており、ウズベキスタン人、インド人、中国人、韓国人、台湾人など多国籍な陣容で、またそれを支える日本人も外国人材コンサルタント、国際弁護士、大学の先生、福祉施設の理事、IT企業の社長などいろいろな人が関わっており、行政、銀行、マスコミなどに幅広い人脈があり、2021年11月28日にイノベーション・ハブ・ひろしまCamps(キャンパス)で行われた最後の起業案発表会にも多くの方が参加されていました。



レンゲツツジ植樹に参加（筆者右から2番目）

私自身は特段の技能・資格・人脈がない中、休日にボランティアとして、外国人が参加しやすい環境作り、また自身の経験に基づくコメント・アドバイスを行ってきました。会社だけでは会えない方々と出会い、自身の勉強、また非常に刺激となった活動となりました。

今後も人生少しでも豊かにすべく、自身が社会貢献できることにチャレンジしていきたいと思います。